

みちびき

おもいやり標語 金賞作品

【最優秀賞】

とどけよう かんしゃの言葉の ありがとう

(高砂小学校 菅原 彩花)

【金賞】

やさしさで ぼくからえがおの 種をまく

(荒井小学校 井上 真誓)

横の人 みんなだれかの たからもの

(伊保小学校 丘田 莉子)

わたしの手 みんなを助ける やさしい手

(伊保南小学校 久保田 真彩)

君からの 笑顔をもらい 元気だす

(中筋小学校 砂川 萌華)

一人じゃない みんながいるよ 大丈夫

(曽根小学校 岡野 千桜)

ごめんねと その一言で 仲直り

(米田小学校 植松 由稀奈)

やさしさで みんなの心に 花が咲く

(米田西小学校 菊地 音羽)

気づこうよ みんなの気持ちを 大切に

(阿弥陀小学校 岡本 陸杜)

ぼくたちは みんなの支えで 生きている

(北浜小学校 川本 一颯)

子どもの頑張り、家族・友達への

“おもいやり”をほめてあげてください

『かんしゃのことばで!』



青少年補導委員協議会では、

新型コロナウイルス感染症拡大

防止のため、さまざまな制限

や自粛の中で工夫をしながら、

青少年非行防止と健全育成の

活動を行っています。このよ

うな社会情勢の中ですが、今

年も市内小学5年生を対象に、

広報部会が中心となって「お

もいやり標語」の募集と選考

を行いました。

たくさん応募の中から、

小学校ごとに金・銀・銅賞を

決定し、金賞10点の中から高

砂市最優秀賞1点を決定しま

した。受賞した皆さん、おめ

でとうございます。また、惜

しくも受賞を逃した作品にも

「おもいやり」の心を伝える

素晴らしい作品がたくさんあ

りました。小学生の心に秘め

た優しさを感じ、広報部員も

青少年補導委員協議会

研修部長 玉井 幸夫



北浜町牛谷在住
補導委員歴14年

温かい気持ちになりました。

人进行いやるには、「相手

がどのような気持ちか」を考

える力、共感する力が必要で

す。その力を養うため、ふと

気付いた子どもたちの頑張り

や家族・友達への思いやりな

どをほめることで、子どもは

自信を育んでいきます。気づ

いてあげることも大事です。

たった一言でも、親が子ど

もを思いやる気持ちは伝わり

ます。このような日々の小さな積み重ねが自信の「種」となり、子どもの中で未来に成長していく大きな「勇氣」となっていくことでしょう。

11月は、子ども・若者育成支援強調月間です

内閣府は、11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定めています。この月間は、子ども・若者を孤立させず、地域全体で支えていく社会を築こうとするものです。すべての子ども・若者が健やかに成長し、すべての若者が自立・活躍できる社会の実現をめざしましょう。